

2024

11

令和6年11月号

県民のあゆみ

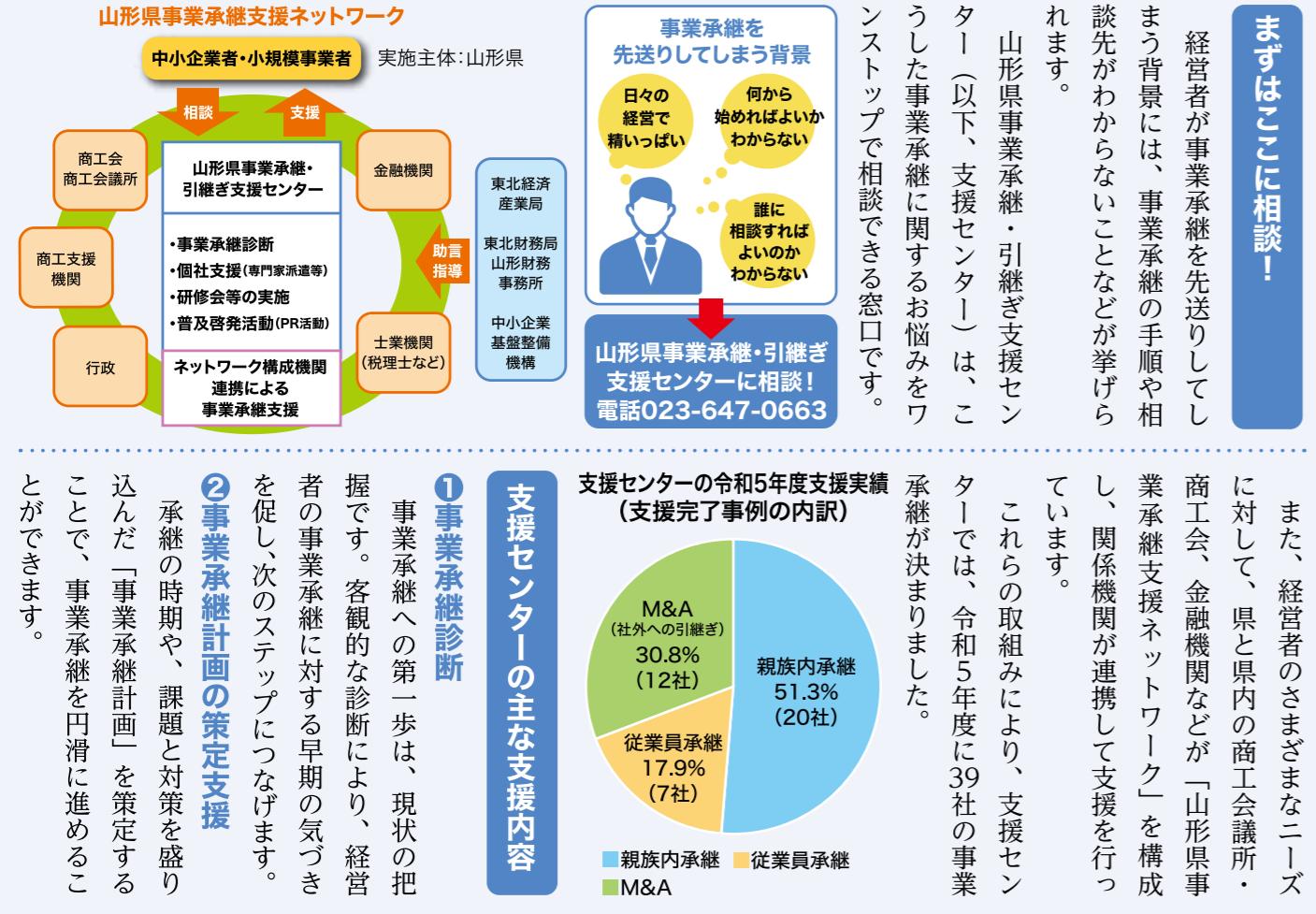


- 特集1 企業のバトンを次世代につなぐために P.02
- 特集2 こどもや若者の声を県政に P.04
- 特集3 県職員の給与の状況 P.05
- 奏であう人 P.08 / 潜入レポート！ P.16

1748年創業、現在は防災用品や日用雑貨の販売などを行う有限会社西谷のお二人。社長の西谷真一さんから、取締役であり娘の西谷友里さんへと、今後事業承継をする準備を進めていく予定です。(撮影場所:有限会社西谷)

表今
紙月の
□

特集 企業のバトンを次世代につなぐために



山形県事業承継・引継ぎ支援センター（以下、支援センター）は、こうした事業承継に関するお悩みをワントップで相談できる窓口です。

また、経営者のさまざまなニーズに対して、県と県内の商工会議所・商工会、金融機関などが「山形県事業承継支援ネットワーク」を構成し、関係機関が連携して支援を行っています。

これらの取組みにより、支援センターでは、令和5年度に39社の事業承継が決まりました。

支援センターの令和5年度支援実績（支援完了事例の内訳）

内訳	割合	件数
親族内承継	51.3%	20社
M&A (社外への引継ぎ)	30.8%	12社
従業員承継	17.9%	7社

①事業承継診断

事業承継への第一歩は、現状の把握です。客観的な診断により、経営者の事業承継に対する早期の気づきを促し、次のステップにつなげます。

承継の時期や、課題と対策を盛り込んだ「事業承継計画」を策定することで、事業承継を円滑に進めることができます。

②事業承継計画の策定支援

事業承継への第一歩は、現状の把握です。客観的な診断により、経営者の事業承継に対する早期の気づきを促し、次のステップにつなげます。

承継の時期や、課題と対策を盛り込んだ「事業承継計画」を策定することで、事業承継を円滑に進めることができます。

③M&Aマッチング支援

支援センターでは、企業支援のノウハウを有するスタッフが計画の策定を支援するほか、税理士や公認会計士などの専門家の派遣も行います。

後継者がいない場合には、「後継者人材バンク制度」により、独立したい方やU・I・Jターンなどの創業希望者と経営者を引き合わせ、M&A（社外への引継ぎ）に向けた支援を行います。

事業承継講習会の開催

県では、早期に事業承継に取り組むきっかけづくりとして、経営者と後継者候補の方などを対象に講習会を開催しています。

講習会では、事業承継の手法や特徴、留意点などを学ぶとともに、経営者と後継者候補の方が、対話を重ねながら、自らの企業の中長期的な経営ビジョンを考えます。

第1期は、村山地域で開催し、10社が参加しました。第2期は、令和6年11月から庄内地域で開催します。

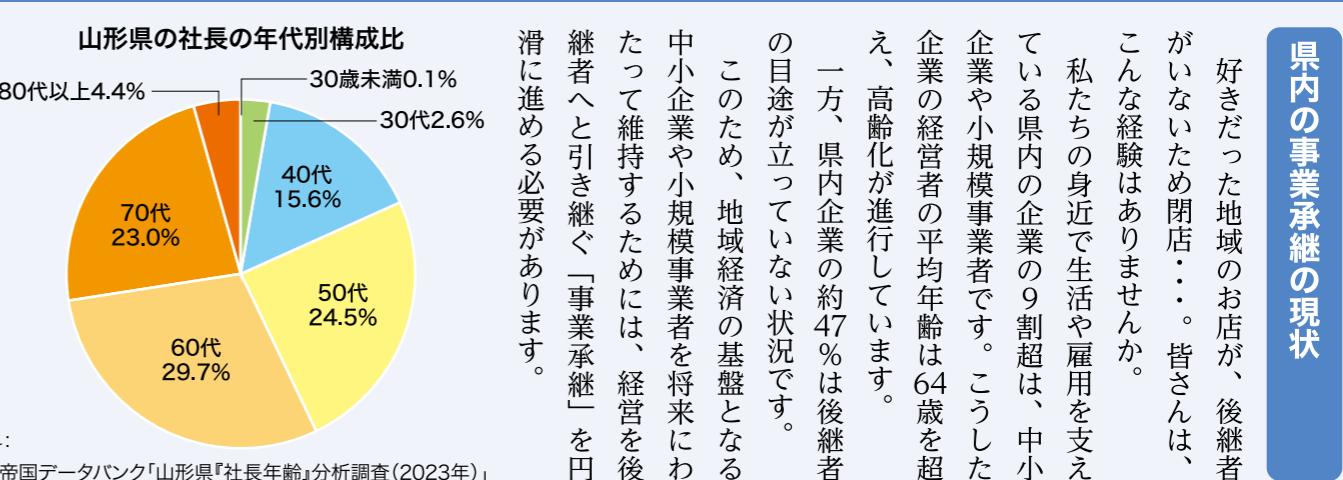
持続的な発展に向けて

中小企業や小規模事業者は、雇用や技術、文化、伝統の担い手として本県を支える重要な存在です。企業が将来にわたって活力を維持し、発展していくため、県では、事業承継の取組みを強力に後押ししていくます。

講習会に参加した後継者の声

- 日々の業務に追われる中、事業承継について考える良い機会になりました
- 経営者と対話を重ねることで、経営者が事業に対してどのような価値観を持ち、どのように取り組んでいるのか、会社の強みは何であるのかを理解することができました
- 自身が将来進むべき道が見えてきたように感じます

▶問い合わせ ◎ 産業創造振興課 ☎ 023-630-2708



事業承継の類型	
親族内承継	現経営者の子をはじめとした親族に承継 ●心情面や、長期間の準備期間確保がしやすい、相続等による財産・株式の後継者移転が可能といった背景から所有と経営の一体化の承継が期待できます。
従業員承継	「親族以外」の従業員に承継 ●経営者能力のある人材を見極めて承継することができます。 ●長期間働いてきた従業員であれば経営方針等の一貫性を期待できます。
M&A (社外への引継ぎ)	社外の第三者(企業や創業希望者など)へ株式譲渡や事業譲渡により承継 ●親族や社内に適任者がいない場合でも広く候補者を求めるることができます。 ●現経営者は会社売却の利益を得ることができます。

県内の事業承継の現状

事業承継の3つの方法

好きだった地域のお店が、後継者がいないため閉店……。皆さんは、こんな経験はありませんか。

私たちの身近で生活や雇用を支えている県内の企業の9割超は、中小企業や小規模事業者です。こうした企業の経営者の平均年齢は64歳を超え、高齢化が進行しています。

そのため、地域経済の基盤となる中小企業や小規模事業者を将来にわたって維持するためには、経営を後継者へと引き継ぐ「事業承継」を円滑に進める必要があります。

一方、県内企業の約47%は後継者の目途が立っていない状況です。

このため、地域経済の基盤となる企業や小規模事業者を将来にわたって維持するためには、経営を後継者へと引き継ぐ「事業承継」を円滑に進める必要があります。

こどもや若者の声を県政に

県では、こどもたちが将来にわたって幸せな生活を送ることができる山形をつくるため、こども・若者の意見を聴く取組みを行っています。

県職員の給与の状況

県職員給与の決定のしくみ

県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

行財政改革の取組み

本県では、これまで、平成7年度の「山形県行財政改革大綱」以来、8次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理、給与管理により、総人件費の増加の抑制を進めてきました。

引き続き、「山形県行財政改革推進プラン2021」(令和3~6年度)に基づき、無駄のない簡素で効率的な組織機構、人員体制の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

なお、令和6年度当初予算における職員給与費は、10年前の平成26年度当初予算と比較した場合、66億円(5.9%)を削減しています(1,123億円→1,057億円)。同様に、令和6年度当初の定員(企業局及び病院事業局を除いた普通会計部門の人数)は、平成26年度当初と比較した場合、879人(5.1%)を削減しています(17,227人→16,348人)。

人件費の状況

(普通会計決算令和5年度)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	令和4年度の人件費率(参考)
6,645億5,724万円	1,380億6,346万円	20.8%	21.0%

(注)人件費とは、職員に支給される給与、退職手当、地方公務員共済組合負担金、特別職に支給される給与・報酬等の総額をいいます。

職員給与費の状況

(普通会計予算令和6年度)

職員数	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	職員1人当たりの給与費
16,165(219)人	673億2,423万円	115億5,674万円	267億2,070万円	1,056億166万円	653万円

(注)1. 職員手当には退職手当を含みません。

2. ()内は、定年前再任用短時間勤務職員又は暫定再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢

(令和6年4月1日現在)

区分	給料月額 給与月額	年齢
一般行政職	331,100円	43歳 8月
	404,400円	
警察職	329,800円	39歳 2月
	449,000円	
高等学校教育職	389,900円	47歳 4月
	431,800円	
小中学校教育職	363,300円	43歳 6月
	395,000円	
技能労務職	332,100円	53歳10月
	369,700円	

(注)給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

職員の期末・勤勉手当

(令和6年4月1日現在)

区分	6月期	12月期	計
期末手当	1,225月分	1,225月分	2,45月分
勤勉手当	1.0月分	1.0月分	2.0月分
計	2,225月分	2,225月分	4,45月分

(注)国家公務員(計4.50月分)と比べて0.05月分低くなっています。

職員の初任給の状況

(令和6年4月1日現在)

区分	給料月額
一般行政職	大学卒業程度
	高校卒業程度
警察職	警察官 A
	警察官 B
高等学校教育職	大学卒
	高校卒
小中学校教育職	大学卒
	高校卒
技能労務職	大学卒
	高校卒

(注)知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計(13人)を含んでいます。

職員の退職手当

(令和6年4月1日現在)

区分	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	19,6695月分	24,586875月分
勤続25年	28,0395月分	33,27075月分
勤続35年	39,7575月分	47,709月分
最高限度額	47,709月分	47,709月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2~20%加算)	
1人当たり平均支給額	(一般職員) 902万円	(全体) 1,128万円

(注)1. 国家公務員と同様の制度となっています。
2. 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和5年度に退職した職員に支給された平均額です。なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

▶問い合わせ ◎人事課 ☎023-630-2024

詳しい内容は、ホームページをご覧になれます。▶



○「山形県こども会議」を行いました!

9月7日に「山形県こども会議」を山形市で開催しました。会議には、県内各地の小学生から高校生まで19名に参加いただきました。

当日は、3つのテーマについて意見を発表した後、小学生、中学生、高校生、オンラインのグループに分かれ、参加者同士で意見交換をしながらさらに考えを深めました。



話し合ったテーマ

- ①山形県がこれからもずっと住み続けたいところになるには?
- ②すべての子どもが幸せになるには?
- ③地域社会が子育てについて支援できることは?

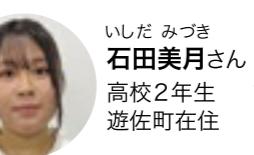


ぬまざわみ ほ
沼澤実穂さん
小学5年生
最上町在住

親や周りの大人が安心できる環境をつければ、子どもが自分の意見を言えるようになり、子どもの幸せにつながると思う。



ごとうこうせい
後藤広成さん
中学3年生
山形市在住



いしだ みづき
石田美月さん
高校2年生
遊佐町在住

子どもたちが幸せになるには地域との関わりを増やしていくことが必要で、地域内で子どもの見守りができる環境をつくれたらいいと思う。



○こども・若者の意見はどうなるの?

こども会議の意見は、県の取組みに生かしていくほか、令和6年度に策定する「山形県こども計画(仮称)」に反映する予定です。この計画は、今後の県のこどもや子育てに関する取組みの基本になるものです。

意見一つひとつには、これからの山形県をより良くするヒントがたくさんありました。

こども会議の意見は、県のホームページで紹介しています。▶



○こどもや若者の意見を募集!

いつでも県に意見を伝えられるように、やまがた子育て応援サイトに「こども意見箱」を設けています。皆さんの「山形県をもっとこうしたい!」というアイデアをぜひ聴かせてください。



こども意見箱
メールフォーム



▶問い合わせ ◎しあわせ子育て政策課 ☎023-630-2668

こんなことが
ありました

Kensei
Topics

1

きれいな空気・星空・あおぞらを永遠に

第36回「星空の街・あおぞらの街」全国大会 in 朝日町の開催(令和6年9月14日～15日 朝日町)

高円宮妃殿下ご臨席の下、「星空の街・あおぞらの街」全国大会を朝日町で開催しました。この大会は、大気環境保全などを目的に、平成元年度から毎年全国各地で開催されています。妃殿下には、式典へのご臨席のほか、空気の恩恵に感謝し、敬愛の心を育む環境モニュメント「空気神社」などをご視察いただきました。Asahi自然観で開催した星空観望会では、妃殿下は山形天文同好会の説明を熱心にお聞きになりました。



Kensei
Topics

2

米どころ山形の新米を全国へ

「つや姫」「雪若丸」稻刈りイベント(令和6年9月26日 新庄市)

吉村知事が東北農林専門職大学の学生と一緒に稻刈りを行いました。知事が「大雨や高温などで厳しい試練の年でしたが、農家の皆さんのがきめ細かな栽培管理をされたことで、素晴らしいおいしいお米ができました。『つや姫』『雪若丸』『はえぬき』のおいしい新米を全国の皆様にお届けしましょう。」とあいさつし、皆で黄金色の稻穂を収穫しました。県では、山形のお米を全国の消費者の皆様に味わってもらえるよう、広く情報発信をしていきます。



Kensei
Topics

3

モンティオ山形、ホームで快勝!

モンティオ山形 vs ザスパ群馬(令和6年9月14日 天童市)

J2リーグ第31節のザスパ群馬戦は、新加入選手の活躍が光る戦いとなりました。前半10分、山形県出身で、8月のJ2リーグ月間MVPを受賞した土居聖真選手のヘディングシュートで先制。2-0で折り返した後半9分には、ディサロ燐シルヴァーノ選手が冷静に押し込み、試合を優位に進めました。最終的には、4-1で勝利をおさめ、NDソフトスタジアム山形に駆けつけたサポーターに勝利を届けました。



9月補正予算(697億2,000万円)の概要

県では、令和6年7月25日からの大雨による災害への対応として、社会基盤の復旧や、被災した方々の生活再建を支援します。また、物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援や、高温下におけるさくらんぼの安定生産に向けた緊急支援などを行うため、過去最大の規模となる補正予算を編成しました。その代表的な取組みをご紹介します。

1 令和6年7月25日からの大雨による災害への対応

①災害復旧

- 被害を受けた土木関係施設、農林水産関係施設等の復旧工事のほか、社会福祉施設の復旧支援を行います。



新田川(新庄市本合海)氾濫状況

②被災者の生活再建支援

- 戸沢村および鮭川村で応急仮設住宅を建設するとともに、酒田市および戸沢村で賃貸型の応急住宅を提供します。

- 住宅被害を受け、かつ政府の「被災者生活再建支援制度」の対象とならない世帯に対して、これと同等の支援が受けられるよう、市町村と連携して支援します。

③被災した中小企業等への支援

- 被害を受けた中小企業・小規模事業者が行う施設・設備等の復旧など事業再建の取組みを支援します。

④被災した農林漁業者への支援

- 病害虫の防除や施肥、農業用水確保のためのポンプ設置、畜産施設や内水面養殖漁業施設の復旧等を市町村と連携して支援します。

⑤その他

- 集客に影響を受けた宿泊施設を支援するため、最上・庄内地域を対象に、宿泊費の割引を行うキャンペーンを展開します。

2 物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援

①生活者への支援

- 市町村と連携して行う低所得世帯への冬季の灯油購入費等の助成に、臨時的な上乗せを行います。
- 子ども食堂やフードバンク活動を行う団体に対して、運営費や活動費を支援するほか、県立学校において、これまでどおりの栄養バランスや量・質を保った学校給食が実施できるよう、食材費を支援します。



生活にお困りの方に食料品を提供するフードバンク活動

②事業者への支援

- 学校施設、医療機関、社会福祉施設、農業者、漁業者等に対して、物価高騰によるかかり増し経費の一部を支援します。



さくらんぼのハウス内や果実の温度上昇を抑える遮光資材

3 諸課題への対応

①令和6年産のさくらんぼの収穫量が高温の影響で平年を大きく下回ったことを踏まえ、高温対策に必要な資材や設備の導入支援、高温対策マニュアルの作成等を行います。

- 東北公益文科大学の公立化および機能強化に関する基本合意に基づき準備を進めるとともに、入学者確保に向けたPRを取り組みます。

4 社会資本整備の着実な推進

- 国庫補助の内示を受けて、道路の長寿命化対策、歩道整備、河川整備、農業用施設整備等の公共事業を追加して実施します。

奏でよう人

Ve

農業の新たなビジネスに挑戦

醸農における6次産業化やハイオガス発電に取り組む濱田篤さんと、農業におけるCO₂削減や廃棄ロス削減に取り組む遠藤久道さんに、農業を起点にした新たなビジネスについてお聞きました。



生乳を低温殺菌することにより、生乳そのままの味を楽しめるジェラートを開発した濱田さん。自社の生乳を使って自分たちの手でこだわりのジェラートをつくっている。キッチンカーでの対面販売では、ジェラートを食べたお客様から「おいしい!」と言ってもらえることがうれしいという。

 新たな視点で広がる
農業の可能性

酪農を営む濱田さんは、自社生産の新鮮な生乳を加工し、こだわりのシエラートを開発しました。

「65℃30分の低温殺菌により、牛乳独特のにおいを抑え、濃厚でなめらかな味わいを実現しました」。ジエラートをキッチンカーや首都圏のお店、オンラインショッピングなどで販売すると、そのおいしさが評判になりました。商社からの引き合いがあり、今後は海外への輸出も考えているそうです。

一方、農業を営む遠藤さんは、米や野菜の栽培におけるCO₂（二酸化炭素）削減と、農林水産省の実証事業による削減量の見える化に取り組みました。

「慣行栽培に比べて、栽培時のC

○₂削減に取り組んでおり、例えば、『CO₂削減米』は、通常のお米に比べ、1kg当たりCO₂を1・9kg削減しています」。

地球温暖化に向き合う取組みは、
大手企業の目に留まり、コラボ商品

の開発や、販路拡大につながつてい
るそうです。

ナーホンニニトテ川を
追い風に

「遠藤さんは、どんな方法でCO₂を削減したのですか。」と興味津々の濱田さんに、遠藤さんが応えます。

「例えば、稻の慣行栽培では、土壤改良としてもみ殻が使われますが、その際、土壤の微生物の分解によりCO₂が発生します。一方、もみ殻を独自の装置で炭化し、分解していくバイオ炭とすることで、土壤改良効果はそのままに大気中へのC

○₂放出を減らすことができます」。
濱田さんが感心して応えます。

の農業分野の鍵になると思います」。

濱田さんは、酪農の臭気問題を解決したいとの思いから、バイオガス発電事業を始めたそうです。

たくなるように、私たちの世代が農業の可能性を広げていきましょう」。



ボンニユートラルに貢献できます」。

アイデアを形にする秘訣

CO₂削減米のほかにも、規格外のお米を製粉し発酵させたライスチーズなど、数々の商品を生み出した遠藤さんが、その秘訣を話します。「農業分野に限らず、さまざま企業や研究機関と連携することで、アイデアを形にできました」。

濱田さんが共感して応えます。

「大学時代に音楽活動に熱中し、音楽イベントの立ち上げに関わりま

した。人とのつながりの大切さや物事の進め方を学び、その経験が事業の立ち上げに役立っています」。

「実は私もバンドマンです。心が折れそうなどきは、ギターを弾くん

ですよ（笑）。」と遠藤さん。思わぬ

共通点から、話に熱が入り、アイデアが次々と溢れます。濱田さんが遠藤さんに呼びかけます。

「子どもたちが農業を仕事に選びたくなるように、私たちの世代が農業の丁能生を上げていきましょう。」

9月定例会の概要

令和6年9月定例会は、9月18日に10月8日までの21日間を会期として開会しました。

今年7月25日からの大雨による災害への対応として、社会基盤の復旧対策や被災者の生活再建支援等を実施するとともに、物価高騰の影響により厳しい状況にある生活者・事業者への支援、高温下におけるさくらんぼの安定生産に向けた緊急支援など、喫緊の課題に対応するための令和6年度一般会計補正予算案や、一般職の任期付職員の採用等に関する条例等の一部を改正する条例の設定、委員の任期満了に伴う山形県教育委員会委員の任命など、知事提出の議案を審議しました。

今定例会では、7月の大河による災害への対応や、山形県エネルギー戦略の方向など活発な質疑質問が行われました。



9月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくは
こちらから

録画中継

会議録検索システム
(※9月定例会は
12月以降に掲載予定)広報誌
'県議会やまがた'
(公民館等で閲覧可)

代表質問（9月24日）



自由民主党
小松伸也 議員
(最上郡選挙区)

◆令和6年7月25日からの大雨による災害に対する知事の所感と復旧復興への決意など



県政クラブ
石黒 覚 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)

◆山形県エネルギー戦略の方向など



自由民主党
鈴木 學 議員
(東村山郡選挙区)

◆さくらんぼの生産支援など



県政クラブ
江口暢子 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)

◆防災学習施設の機能強化など



日本共産党
山形県議団
関 啓 議員
(鶴岡市選挙区)

◆主食用米の安定供給と稲作農家支援など



自由民主党
加賀正和 議員
(尾花沢市・北村山郡選挙区)

◆少子化進行に伴う県立高校の在り方の検討議論の経過と論点など

一般質問（9月25日）

会議用語

傍聴

県民など議員以外の方が会議の状況を直接見聞きすること。

山形県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

<受付場所>
本会議:南棟1階
予算特別委員会:北棟5階
その他の委員会:南棟3階

予算特別委員会（9月27・30日・10月1日）



自由民主党
阿部恭平 議員
(寒河江市・西村山郡選挙区)

◆山形県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備など



県政クラブ
橋本彩子 議員
(寒河江市・西村山郡選挙区)

◆教室に行けない子どもたちへの支援の充実など



自由民主党
相田日出夫 議員
(東置賜郡選挙区)

◆令和7年度以降の保育料無償化の取組みなど



公明党
菊池文昭 議員
(山形市選挙区)

◆東北公益文科大学の公立化など



県政クラブ
石川正志 議員
(新庄市選挙区)

◆大雨災害からの中小河川の復旧計画など



自由民主党
佐藤正胤 議員
(鶴岡市選挙区)

◆大雨災害からの公共土木施設の復旧に向けた現在の取組みと今後の工程など



県政クラブ
高橋 淳 議員
(鶴岡市選挙区)

◆山形県のスポーツ振興の考え方など



自由民主党
田澤伸一 議員
(東田川郡選挙区)

◆陸羽西線の運行再開に向けた見通しなど

大雨災害現場の緊急現地調査を実施

7月25日からの大雨により庄内・最上地域を中心に発生した災害について、8月1日に農林水産常任委員会が、8月9日に建設常任委員会が、それぞれ被災状況や今後の見通しなどについて緊急に現地調査を行いました。

農林水産常任委員会

農地の冠水や土砂流入、カントリーエレベーターや園芸用ハウスの浸水、農業用施設等への流木・土砂堆積などの被害状況について、鶴岡市、酒田市、庄内町の10か所の農地・施設等を調査しました。



建設常任委員会

国道344号への土砂流入や道路崩壊、新田川の堤防決壊、鮎川、月光川および荒瀬川における溢水の被害状況について、酒田市、新庄市、真室川町、遊佐町の5か所の現場を調査しました。



北海道・東北六県議会議員研究交流大会で意見交換を実施

8月29日、秋田市で研究交流大会が開催され、株式会社ウェンティ・ジャパンの佐藤裕之代表取締役社長による、秋田県における風力発電の取組みについての講演を聴講した後、「再生可能エネルギーの利活用」、「防災力向上」、「教育施策」の3つの分科会に分かれて、各道県議会議員が意見交換を行いました。 佐藤 裕之 氏 分科会の様子



議場演奏会と議会見学会を開催

10月1日、県議会をより身近に感じていただくための取組みの一環として、山形交響楽団の弦楽合奏による議場演奏会を開催しました。また、県議会の仕組み・役割の説明や議事堂の見学会、予算特別委員会の傍聴も併せてを行い、県議会への理解を深めていただきました。



生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

新庄南高等学校(9月3日)



庄内農業高等学校(9月9日)



「庄内のこれから」を全体テーマとして、農業、生活環境、学校教育の3班に分かれて意見交換を行いました。

11月22日(金) 地域議員協議会を開催します

県議会では、各地域における行政課題や施策展開について幅広く調査・審議するため、**地域議員協議会**を開催しています。各総合支庁を会場に、今年は11月22日(金)に開催します。傍聴可能ですので、ぜひ足をお運びください。

- ◎東南村山地域(村山総合支庁本庁舎) 午後2時～
- ◎西村山・北村山地域(村山総合支庁西村山地域振興局) 午前10時～
- ◎最上地域(最上総合支庁) 午後2時～
- ◎置賜地域(置賜総合支庁西置賜地域振興局) 午後2時30分～
- ◎庄内地域(庄内総合支庁) 午前10時～

協議会の
概要是
こちらから



▶問い合わせ ◎編集発行／県議会事務局政策調査室 ☎023-630-2845

山形県議会

検索



どうなってるの!?

こうそくどうろ 高速道路のトンネル工事

おおやまつらぬ
大きな山を貫くトンネルは
どうやってつくっているの?

さいしん ぎじゅつ かつよう
最新技術を活用しながら、
安全・安心な工事をしています。

私たちが、早く、快適に、車で移動できる高速道路。真室川町の県境近くでは、将来、東北中央自動車道の一部になる「真室川雄勝道路」(長さ7.2キロメートル)の工事が進んでいます。なかでも、山間部に欠かせないのがトンネルです。雪に強い道路を目指す真室川雄勝道路は、6割がトンネルの区間です。現在工事中の「新及位トンネル」は、長さ約1.1キロメートルを約2年半の期間をかけてつくります。工事は、①ドリルジャンボと呼ばれる大きな機械と火薬を使って山の岩を碎く、②土砂をトンネルの外に出す、③鉄の骨組みやコンクリートなどでトンネルの壁を補強する、という作業を繰り返し、1日当たり約3~4メートルのペースで掘り進めます。とても危険な工事を安全に、正確に行うためには、高い技術が必要です。全国から集まったトンネル工事の達人たちが、AIや自動操縦などの最新技術を活用しながら、慎重に掘り進めています。



山の岩に火薬をつめる穴をあけるドリルジャンボ



国土交通省山形河川国道事務所
新庄国道維持出張所専門官 高田 教継さん

真室川雄勝道路の整備により、国道と高速道路のWネットワークで雪に強い交通網となります。また、山形・秋田間の移動時間の短縮や観光の拡大が期待されています。現場見学もできますので、詳しくは、山形河川国道事務所のホームページをご覧ください。



作業員の健康を守るために
工事で発生するほこりから作業員を守るため、天井に設置した大きなパイプで外のきれいな空気をトンネル内に送り、換気をしています。



土砂をかき出すのは、トンネル工事専用のホイールローダー。土砂は、道路の盛り土などに利用します。



作業に使った水は、特別な装置できれいな水にして川に流します。現場近くの環境も守りながら工事を進めています。



山の重みなどで生じるトンネルの小さなゆがみや、作業機械の状態、気象予報などをリアルタイムで確認し、安全で正確な工事を行っています。



ここに広告を載せませんか?

県民のあゆみは発行部数約40万部、県内市町村広報紙とともに広く配布
アンケート調査では回答者の**41.6%**が情報収集に利用しています(※)
※令和5年度山形県広報効果に関するインターネットアンケート調査より

- ◎掲載料: 1枠300,000円(税込)
- 中面のページ1枠 200,000円(税込)
- ◎問合先: 県広報広聴推進課 ☎ 023-630-2089

県ホームページのバナー広告
も募集中!

◎掲載料: 1枠50,000円/月

詳しくは

